

平成25年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年7月5日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ティムコ

コード番号 7501 URL <http://www.tiemco.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 誠一

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理部長 (氏名) 中山 芳忠

TEL 03-5600-0122

四半期報告書提出予定日 平成25年7月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年11月期第2四半期の業績(平成24年12月1日～平成25年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年11月期第2四半期	1,429	△0.9	△17	—	△13	—	△18	—
24年11月期第2四半期	1,442	2.3	34	△11.9	41	△9.7	3	△16.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年11月期第2四半期	△6.39	—
24年11月期第2四半期	1.41	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年11月期第2四半期	7,733	6,644	85.9	2,356.33
24年11月期	7,623	6,695	87.8	2,374.43

(参考) 自己資本 25年11月期第2四半期 6,644百万円 24年11月期 6,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年11月期	—	0.00	—	15.00	15.00
25年11月期	—	0.00	—	—	—
25年11月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年11月期の業績予想(平成24年12月1日～平成25年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,929	4.5	23	—	29	763.7	10	—	3.55

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更」に該当します。詳細は、添付資料3ページ「(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年11月期2Q	3,339,995 株	24年11月期	3,339,995 株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

25年11月期2Q	520,166 株	24年11月期	520,091 株
-----------	-----------	---------	-----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年11月期2Q	2,819,879 株	24年11月期2Q	2,819,904 株
-----------	-------------	-----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報に基づき作成したもので、実際の業績は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。なお、業績見通し等に関する事項は、【添付資料】P3「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 継続企業の前提に関する注記	7
(5) セグメント情報等	7
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間(自平成24年12月1日至平成25年5月31日)における日本経済は、長引く欧州の金融不安が依然続いていることや、中国をはじめとする新興国経済の減速などにより、先行きが不透明な状態が続いております。

また国内におきましては新政権による経済政策や金融緩和への期待から、為替の円安、株高などの景気好転の兆しがみられました。しかしながら、個人消費については消費マインドの回復までには至っておらず、経営環境も依然厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社では収益内容の改善に取り組むべく営業活動を行ってまいりましたが全般的に販売が苦戦しました。その結果、当第2四半期の売上高は14億29百万円(前年同期比0.9%減)となりました。また、売上高の減少の一方、在庫品の値下げロスが発生し、売上総利益率が低下するとともに、直営店舗の新規出店による人件費や減価償却費などの販売費及び一般管理費が増加しました。これにより営業損失は17百万円(前年同期間 営業利益34百万円)、経常損失は13百万円(前年同期間 経常利益41百万円)となり、四半期純損失は18百万円(前年同期間 四半期純利益3百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次の通りであります。

(フィッシング事業)

フィッシング事業に関しては、1月から3月の寒波による悪天候の影響を大きく受けることとなり、昨年を下回りました。フライ(毛鉤)用品の販売は新製品の投入効果により、比較的堅調に推移いたしましたが、ルアー用品の販売が苦戦し、その結果、フィッシング事業の売上高は5億72百万円(前年同期比6.7%減)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は95百万円(前年同期比30.8%減)となりました。

(アウトドア事業)

アウトドア事業に関しては、12月以降強い寒気により気温が低下いたしました。防寒衣料の動きが昨年と較べ鈍化し、販売は低調となりました。3月以降に関しましては、春夏物衣料に動きが始めました。

その結果、アウトドア事業の売上高は8億49百万円(前年同期比3.2%増)となりました。また、前記の販売費増加の影響を受け、セグメント利益(営業利益)は18百万円(前年同期比57.0%減)となりました。

(その他)

その他の主な内容は、損害保険代理業の手数料収入ならびに不動産賃貸収入売上であります。当第2四半期累計期間に関しては、不動産賃貸収入の増加により、その他売上高は7百万円(前年同期比26.3%増)となりました。また、セグメント利益(営業利益)は3百万円(前年同期比1.7%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債、純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の資産は、前事業年度末に比べ1億10百万円増加し77億33百万円となりました。

流動資産は、現金及び預金の減少1億56百万円の一方、季節的な影響による商品及び製品の増加1億96百万円や有価証券の投資有価証券からの振替えによる増加1億円などの影響により、前事業年度末に比べ2億7百万円増加し、43億63百万円となりました。

固定資産は、投資有価証券1億円が短期の有価証券に振替えられたことなどにより、前事業年度末に比べ97百万円減少し、33億69百万円となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ1億61百万円増加し10億88百万円となりました。

流動負債は、仕入が集中する季節的な影響により、支払手形及び買掛金が1億70百万円増加したこと

などにより、前事業年度末に比べ1億56百万円増加し、8億68百万円となりました。
固定負債は、退職給付引当金が増加したことなどにより、前事業年度末に比べ4百万円増加し2億20百万円となりました。

（純資産）

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ51百万円減少し、66億44百万円となりました。これは主に、四半期純損失18百万円の発生や、前事業年度決算の配当支出42百万円などによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ1億54百万円減少し、4億15百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、77百万円(前年同四半期の得られた資金は31百万円)となりました。これは主に、仕入債務の増加1億79百万円、減価償却費47百万円などによる資金の増加の一方、たな卸資産の増加1億98百万円、売上債権の増加67百万円、税引前四半期純損失14百万円などによる資金の減少によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、27百万円(前年同四半期の使用した資金は2百万円)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出20百万円、無形固定資産の取得による支出5百万円などによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、51百万円(前年同四半期の使用した資金は57百万円)となりました。これは主に、前事業年度決算に係る配当金による支出42百万円とリース債務の返済による支出8百万円によるものです。

(3)業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、平成25年7月3日発表の「第2四半期業績予想との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおりであります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1)四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期会計期間より、平成24年12月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年11月30日)	当第2四半期会計期間 (平成25年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,481,239	1,324,479
受取手形及び売掛金	523,918	591,585
有価証券	1,114,010	1,214,159
商品及び製品	965,416	1,162,320
その他	72,954	73,025
貸倒引当金	△1,572	△1,775
流動資産合計	4,155,967	4,363,795
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	792,144	782,438
土地	2,011,097	2,011,097
その他（純額）	24,182	22,972
有形固定資産合計	2,827,424	2,816,508
無形固定資産	32,154	28,769
投資その他の資産	607,512	524,073
固定資産合計	3,467,091	3,369,350
資産合計	7,623,059	7,733,145
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	546,229	716,695
未払法人税等	19,549	13,081
返品調整引当金	19,523	14,184
店舗閉鎖損失引当金	—	788
その他	125,738	123,263
流動負債合計	711,040	868,014
固定負債		
退職給付引当金	134,265	136,427
役員退職慰労引当金	57,459	—
その他	24,626	84,253
固定負債合計	216,351	220,681
負債合計	927,392	1,088,695
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,079,998	1,079,998
資本剰余金	3,861,448	3,861,448
利益剰余金	2,047,923	1,987,613
自己株式	△290,211	△290,253
株主資本合計	6,699,159	6,638,806
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△3,493	5,643
評価・換算差額等合計	△3,493	5,643
純資産合計	6,695,666	6,644,450
負債純資産合計	7,623,059	7,733,145

(2) 四半期損益計算書
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
売上高	1,442,132	1,429,114
売上原価	750,552	767,531
売上総利益	691,580	661,583
返品調整引当金戻入額	19,311	19,523
返品調整引当金繰入額	13,913	14,184
差引売上総利益	696,978	666,922
販売費及び一般管理費	662,002	684,058
営業利益又は営業損失(△)	34,975	△17,135
営業外収益		
受取利息	2,529	2,308
受取配当金	256	263
為替差益	2,580	278
その他	817	496
営業外収益合計	6,184	3,347
営業外費用		
支払利息	61	62
その他	81	10
営業外費用合計	143	72
経常利益又は経常損失(△)	41,017	△13,860
特別損失		
店舗閉鎖損失引当金繰入額	—	788
特別損失合計	—	788
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	41,017	△14,649
法人税、住民税及び事業税	6,407	7,020
法人税等調整額	30,643	△3,657
法人税等合計	37,050	3,362
四半期純利益又は四半期純損失(△)	3,966	△18,012

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年12月1日 至平成24年5月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	41,017	△14,649
減価償却費	39,965	47,369
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	349	203
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△5,398	△5,338
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	△602	788
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,914	2,162
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,369	△57,459
受取利息及び受取配当金	△2,786	△2,572
支払利息	61	62
為替差損益 (△は益)	△644	△1,664
売上債権の増減額 (△は増加)	△116,164	△67,666
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△155,267	△198,826
仕入債務の増減額 (△は減少)	234,350	179,335
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△4,479	△7,600
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	2,759	2,225
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△8,100	△3,837
その他	695	59,835
小計	34,037	△67,633
利息及び配当金の受取額	3,173	2,345
利息の支払額	△61	△62
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△5,682	△12,476
営業活動によるキャッシュ・フロー	31,466	△77,827
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△954,200	△954,200
定期預金の払戻による収入	956,000	956,000
有価証券の取得による支出	△300,000	△300,000
有価証券の償還による収入	500,000	300,000
有形固定資産の取得による支出	△6,683	△20,857
無形固定資産の取得による支出	△361	△5,565
投資有価証券の取得による支出	△200,000	—
資産除去債務の履行による支出	△2,681	—
敷金の差入による支出	△3,332	△3,181
敷金及び保証金の回収による収入	8,586	82
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,670	△27,721
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△8,796	△8,796
自己株式の取得による支出	—	△42
配当金の支払額	△49,053	△42,182
財務活動によるキャッシュ・フロー	△57,850	△51,022
現金及び現金同等物に係る換算差額	644	1,664
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△28,409	△154,907
現金及び現金同等物の期首残高	640,221	570,149
現金及び現金同等物の四半期末残高	611,811	415,242

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間(自 平成23年12月1日 至 平成24年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	613,607	822,734	1,436,341	5,791	—	1,442,132
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	613,607	822,734	1,436,341	5,791	—	1,442,132
セグメント利益又は損失(△)	137,404	42,807	180,211	3,917	△149,153	34,975

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△149,153千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第2四半期累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	調整額 (注) 2	合計 (注) 3
	フィッシング 事業	アウトドア 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	572,560	849,241	1,421,801	7,313	—	1,429,114
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	572,560	849,241	1,421,801	7,313	—	1,429,114
セグメント利益又は損失(△)	95,131	18,416	113,547	3,982	△134,666	△17,135

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△134,666千円は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に管理部門等の一般管理費であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っています。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。